



米沢市報道資料

上杉邦憲氏に米沢市名誉市民の称号を贈る
議案を提出します。

令和7年5月26日
総務課 総務担当
電話 22-5111(内線5111)

東京都日野市在住の上杉邦憲氏に、米沢市名誉市民の称号を贈りたく、米沢市名誉市民条例の規定により議会の同意を得るため、市議会6月定例会に議案を提出します。

議会の同意を得ましたら、10月に贈呈式を開催する予定です。

なお、上杉氏個人への取材等は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

《添付資料》

- 1 R7.5.26 市長定例記者会見配布資料
- 2 上杉氏写真

この内容は、本日の定例記者会見でも公表しております。

米沢市名誉市民候補者

うえすぎ くにのり
上杉 邦憲（82歳） 東京都日野市

（略 歴）

昭和53年 東京大学宇宙航空研究所 助教授
 昭和56年 米国航空宇宙局（NASA）・カリフォルニア工科大学ジェット推進研究所客員研究員
 昭和60年 ハレー彗星探査機「さきがけ」、「すいせい」 プロジェクトエンジニア
 平成2年 文部省宇宙科学研究所 教授
 平成2年 工学実験衛星「ひてん」 プロジェクトマネージャー
 平成4年 磁気圏尾部探査衛星「Geotail」 打ち上げ プロジェクトマネージャー
 平成15年 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究本部 教授
 平成15年 小惑星探査機「はやぶさ」 打ち上げミッション主導
 平成20年 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）退官

（現 在）

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）名誉教授
 特定非営利活動法人北海道宇宙科学技術創成センター（HASTIC）理事長

（受賞歴）

平成3年 日経 BP 賞
 平成5年 米国航空宇宙局（NASA）Group Achievement Award
 平成10年 米国航空宇宙局（NASA）Group Achievement Award
 平成15年 第13回日本航空宇宙学会技術賞
 平成18年 米国宇宙協会 Pioneer Award
 平成19年 文部科学大臣表彰（科学技術分野）
 平成22年 公益財団法人 NEC C&C 財団 25周年記念賞
 平成22年 菊池寛賞
 平成23年 米国 National Space Society Werhner von Braun Award
 平成24年 国際宇宙航行連盟（IAF）アラン・D・エミール記念賞
 令和5年 国際宇宙航行連盟（IAF）Hall Of Fame

(事 績)

ハレー彗星探査機「さきがけ」、「すいせい」、後の探査ミッションで多用されたスイングバイ航法を確立した「ひてん」、世界初の小惑星から試料採取を成功させた「はやぶさ」など数々の宇宙探査ミッションを率い、成功を収められたほか、地球磁気圏の尾部を探る日米の国際協力や国際学術活動への貢献が評価され、令和5年には、国際宇宙航行連盟の殿堂入りに位置づけられる「Hall of Fame」の一員として採択されました。

また、公益財団法人米沢上杉文化振興財団や公益財団法人米沢有為会の名誉会長などを務められ、本市の歴史と文化の振興に寄与されています。

米沢市名誉市民選考委員会

日 時：令和7年4月23日(水)8時50分

場 所：市役所庁舎3階庁議室

選考委員

米沢市議会	議長	相田	克平
米沢商工会議所	会頭	加藤	英樹
米沢信用金庫	理事長	加藤	秀明
山形大学工学部	副学部長	木俣	光正
米沢市地区委員会	委員長	高橋	征男
米沢市芸術文化協会	会長	佐藤	富士雄

○米沢市名誉市民条例

平成16年9月30日

条例第30号

米沢市名誉市民条例（昭和29年米沢市条例第1号）の全部を改正する。

（目的）

第1条 この条例は、社会の進展及び文化の興隆に貢献した者に対し、米沢市名誉市民（以下「名誉市民」という。）の称号を贈り、その功績及び栄誉をたたえることを目的とする。

（名誉市民）

第2条 本市の住民又は本市に特別縁故の深い者で、政治、経済、文化、教育、産業その他広く社会の進展に貢献し、市民から郷土の誇りとして深く尊敬されていると認められるものについて、市長が議会の同意を得て名誉市民の称号を贈るものとする。

（表彰及び功績の公表）

第3条 名誉市民に対しては、名誉市民証に添えて名誉市民章及び功労金を贈るものとする。

2 名誉市民の功績は、適切な方法によって顕彰するものとする。

（待遇）

第4条 名誉市民に対し、次の待遇を行うものとする。

（1）市の公の式典への参列

（2）逝去の際における相当の礼をもってする弔慰

（名誉市民選考委員会）

第5条 名誉市民候補者の選考に関し、市長の諮問に応じ審査するため、米沢市名誉市民選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会の委員は、6人以内とし、識見を有する者のうちから市長が委嘱する。

3 委員会の委員は、当該諮問に係る答申が終了したときは、解任されるものとする。

（委任）

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の日前に改正前の米沢市名誉市民条例の規定により推挙された名誉市民は、改正後の米沢市名誉市民条例の規定により名誉市民の称号を贈られたものとみなす。

米沢市名誉市民

伊東 忠太（慶応3年10月26日～昭和29年4月7日） 日本建築に学術上の組織と体系を与え、日本建築学を樹立。 建築技術の向上と古建築物の保存に貢献。 昭和29年2月26日 米沢市名誉市民（第1号） 東京大学名誉教授 工学博士 昭和18年4月29日 文化勲章受章 正三位勲二等瑞宝章	
我妻 榮（明治30年4月1日～昭和48年10月21日） 民法学の権威として我が国における法律学界の発展に寄与。 法律制度の整備改善に貢献。 昭和39年11月24日 米沢市名誉市民（第2号） 東京大学名誉教授 法学博士 昭和39年11月3日 文化勲章受章 従二位勲一等旭日大綬章	
平 貞藏（明治27年8月7日～昭和53年5月28日） 米沢市建設振興計画をはじめ、東北、北海道の開発計画の策定、指導など、地域開発と振興に貢献。 昭和48年9月12日 米沢市名誉市民（第3号） 第一経済大学学長 山形県総合開発審議会会長 米沢市建設振興審議会会長 昭和36年11月23日 米沢市功績者 正五位勲三等瑞宝章	
福王寺 法林（大正9年11月10日～平成24年2月21日） ヒマラヤ山脈を雄大に描いて日本画の新たな境地を切り開く など、院展画家として活躍。 平成16年12月6日 米沢市名誉市民（第4号） 日本芸術院会員 日本美術院理事 平成16年11月3日 文化勲章受章 従三位勲三等瑞宝章	

